

とこなめ市議会だより NO. 179

令和6年5月1日 編集/発行 常滑市議会

〒479-8610 愛知県常滑市飛香台3丁目3番地の5
TEL : 0569-47-6128 (直通)
E-mail : gikaigiji@city.tokoname.lg.jp



エスチャイルりんくう保育園内覧会(3月13日)

4月1日に開園したエスチャイルりんくう保育園は、イオンモール常滑で朝5時30分から夜11時までやっている保育園です。



藤田ドクターヘリとの連携訓練(3月14日)

乗用者同士の交通事故で車に挟まれたという想定で、レスキュー隊による救助訓練を行いました。その後、緊急な処置が必要とされ、ドクターヘリを出動要請し、傷病者を藤田医科大学病院へ引き渡すまでの一連の訓練を行いました。



避難所運営勉強会(2月8日)

職員、議員が参加し、避難所設置訓練の一環としてHUG(避難所・運営・ゲーム)が行われました。

〈目次〉

市政を問う(代表・一般質問)	P2 ~ 9
令和6年度当初予算審査報告	P10
特別委員会、協議会報告	P11
定例会、臨時会報告	P12



You Tube



いいね・チャンネル登録してニャン



代表質問（市政を問う）

議員名の下にある QR コードを読み取ると、各議員の質問映像を YouTube でご覧いただけます。

施政方針について



常翔会
加藤久豊



- 問** 西知多道路の進捗及び中部国際空港 2 本目滑走路の現状はどうか。
- 答** 令和 6 年 2 月末で、常滑工区の用地確保は、9 割超の進捗率となっている。2 本目滑走路は県や関係機関と連携しながら機能強化を推進していく。
- 問** 常滑焼まつり・農業まつりを今後は常滑市産業まつりとして一体的に開催した方が良いと思うがどうか。
- 答** 課題もあるが、関係団体の意見を伺いながら検討したい。
- 問** 防災カメラのアクセス数及び設置場所拡大はどうか。
- 答** 市内 8 箇所の河川等の水位を監視する防災カメラのアクセス数は、令和 5 年 4 月から令和 6 年 2 月末で、合計 1 万 2,298 件。令和 6 年度は商業施設が集中する市中心部及び常滑港付近を同時に監視できる標高が高い地点に 2 箇所設置。
- 問** 国際展示場との連携強化策は。
- 答** 「エリア MICE 推進とこなめ部会」を昨年 9 月に立ち上げた。
- 問** 給食費改定の公費負担の方針は。
- 答** 令和 6 年度は国の交付金を活用して実施するが、令和 7 年度以降の公費負担については、毎年の予算編成の中で検討していく。
- 問** 給食食材調達までの過程や検品、衛生上の安全性はどうか。
- 答** 衛生管理基準に従い、信頼できる納入業者や食材を選定し、納品時もしっかりと確認・記録することで、安全な食材の使用に努めている。
- 問** 図書館や老朽化した文化施設の今後のあり方はどうか。
- 答** 文化施設の利用者や関係者から意見を聞き、複合化に限らず様々な可能性を含め、今後の図書館・文化施設のあり方について検討する。
- 問** 大曾公園に広域農道（味覚の道）からのアクセスはどうか。
- 答** 大曾市営住宅の用途廃止後の活用方法を検討する中で、味覚の道からのアクセス向上についても検討する。
- 問** 県水道料金の値上げに合わせて、水道事業経営戦略の見直しに着手するが、能登半島地震等で甚大な被害が発生した事例を踏まえると、早期に水道管の更新を進めていかななくてはならない。対応はどうか。
- 答** 令和 6 年度に水道事業経営戦略の見直しを行う中で、現在計画している水道管更新時期の早期化とともに、早期化に伴い必要となる更新費用についても、水道事業収益とのバランスを考慮しながら検討していく。
- 問** ツーリズム EXPO ジャパン 2024 出展の観光 PR の目玉は。
- 答** 目玉となる装飾や演出については、今後決定していく。
- 問** 産業用地創出で候補地の公表、事業スケジュールは。
- 答** 3 月におおよその地域を示したい。事業スケジュールについては企業庁からは具体的な計画を企業庁へ相談してから完成までに 8 年から 10 年程度要する見込みと聞いている。
- 問** 市制 70 周年事業の概要と期待される効果は。
- 答** 「特別記念事業」は、「第四回とこなめ山車まつり」、「TOUCH! TOKONAME」、「子どもの夢かなえる事業」。市主催事業では、記念式典の開催。親子で楽しむ「フルーツツアー」や新給食センターでは、学校給食レストランの実施。海外でも活躍する「京都橘高校のパレード」や「NHK 民謡魂公開収録」、「大相撲常滑場所」の開催などを予定。
- 問** 常滑市の財政はまだまだ厳しいと思う。財政の見直しは。
- 答** 物価高騰、人件費増の影響により経常経費等が増加しており、今後も厳しい財政状況が見込まれるが、施策の実現に向けて、事業の選択と集中により、限られた財源を重点的かつ効率的に配分するとともに、ポータル・ス・まちづくり基金を始めとした各種基金を効果的に活用していく。
- 問** 病院跡地や図書館跡地の利用はどうか。
- 答** 旧市民病院跡地については、土壌汚染に伴う地下水モニタリング等の適切な管理が必要のため、売却ではなく、定期借地による土地利用を想定。旧図書館跡地については、測量など実施した上で、売却を進めていく予定。また、施設の廃止等に併せて活用が見込めない土地については、積極的に売却を進め、財源確保を図っていく。

代表質問は、3月5日に2会派が執行部と熱心なやりとりを行いました。問と答の内容はいずれも質問会派が執筆しました。なお、文責は質問会派にあります。

施政方針について



中村崇春



施政方針に沿って、前向きでチャレンジする提案を含め、質問した。

問 「こども家庭センター」で統括的また、新たに行う業務は何か。

答 統括的には全妊産婦、子育て世帯、こどもに対し、母子保健・児童福祉の両機能から一体的に支援を、新たな業務は地域の子育て支援室との連携体制の強化等を行う。

問 第3子以降の保育料及び給食費の完全無償化では、全ての第3子以降を対象とすべきと考えるがどうか。

答 限られた財源の中、年齢制限を中学生までとして始め、今後は、より強い財政基盤を作っていく。

問 スポーツクラブ等の指導者の「地域移行」の指導者を務めても良いという意向は把握しているか。

答 指導を希望される方には、県の「人材バンク」への登録もお願いしながら、確保に努める。

問 コミュニティスクールでは、各

小中学校で独自の事業が実施されている。さらなる支援の拡充はどうか。

答 今後も各校で積極的な取組が進むよう、必要な予算を確保しつつ、情報共有や情報交換の場を設ける。

問 障害の種類や程度に関わらず、日々安心して暮らせるグループホームは十分に整備・運営されているか。

答 利用者が増加すると認識しているため、市内の施設の充実を図るため、事業者等に対し参入を働きかける。

また、個々の施設の運営では、利用者が安心して暮らせるよう、相談の際は必要に応じて助言等を行う。

問 災害時の上下水道の破損は復旧の最優先事項である。給水確保のため、水道の耐震管路を総点検し、対策すべきだがどうか。

答 重要給水施設への管路網の検証を行い、より適切な水道管路の耐震化を検討する。

問 マンホールトイレは臭気も大きく減少させる。避難所指定の施設で整備すべきだがどうか。

答 将来的なマンホールトイレの整備も視野に、当面は、簡易トイレの運用ルールの周知を図る。

問 時間のない中で避難することを

考え、小中学校の避難行動を検証すべきだが、実施するか。

答 今すぐ見直しが必要な状況ではないが、訓練の中で課題を検証し、必要な改善・見直しを図る。

問 生ごみ減量化のため「ぎゅーつと水切り大作戦」とし、特に小中学校に発信してはどうか。

答 これまで以上に生ごみの水切りなどに注目した内容を「ごみ減量授業」などで幅広く発信する。

問 大曾公園では、インクルーシブ公園での整備は再整備基本計画の大きな目的とならないか。

答 施設を計画する中で、インクルーシブの対応も検討する。

問 高知市のひろめ市場のような施設を公民連携の公有地活用で整備してはどうか。

答 民間から公有地施設整備の提案があった場合に、話を伺い、どういった連携ができるのか検討する。

問 陶磁器会館付近で「おもてなしトイレ」の整備はどうか。

答 陶磁器会館の今後の方向性を考える際に、合わせて考える。



高知市ひろめ市場

問 道の駅での整備も含め、市内外から誘客を見込む施設として調査を実施する。

答 本市が取り組む水産業振興策、支援策は何か。

答 市単独では、アサリの稚貝放流事業への補助金を交付している。また、伊勢湾の栄養塩対策で、県や近隣市町と連携しリン濃度を増加させる栄養塩管理運転を実施している。

問 新たな住宅地の開発に対する市の考えを問う。

答 住宅地の需給状況などにより、鉄道駅周辺の活用が可能な地域で新たな住宅地の形成を検討する。

一般質問（市政を問う）

議員名の下にある QR コードを読み取ると、各議員の質問映像を YouTube でご覧いただけます。

問 ひきこもる人が安心できる居場所の常設を

答 ひきこもる人への支援を前向きに検討する



加藤代史子



住宅の耐震診断と改修、家具固定について

問 令和5年度の取組実績と課題についての考えはどうか。

答 耐震診断は100件、家屋の改修工事は4件、ブロック塀除却は15件、危険家屋の除却は29件。課題は耐震診断の件数はのびているが、高齢者が多く、費用も高額で改修に至らない。

問 家具の固定による在宅避難できる環境整備が重要だと思うがどうか。

答 地区での防災講話時や小中学校の防災教育の中で家具固定の重要性について講義している。

子育て援助活動支援事業（ファミ・サポ）について

問 現在の登録会員数と状況は。

答 依頼会員64名、援助会員15名、両方会員18名、合計97名、学校や保育園への送迎等で延べ311件の実績。援助会員には男性の参入も必要

問 南海トラフ地震の本市の被害想定は

答 家屋倒壊数6千800棟。避難者数1万1千人



肥田裕士



地震に対する市の防災対策は

問 能登半島地震での本市からの支援実績について。

答 消防16名、税務3名、水道4名、下水4名、看護師2名派遣し、それぞれの業務に従事した。

問 市民の生命と財産を守ることは基礎自治体（市町村）の使命である。能登半島地震等を教訓として地震に対する防災対策を市役所が準備していることは重要である。本市の地震発生時の非常配備体制については。

答 3段階の非常配備体制で第2非常配備体制にて150人、第3非常配備で職員全員を配備する。

問 市職員に対する参集訓練をやっているか。

答 参集メールを一齐送信し参集所要時間等返信する訓練を3回実施。

問 災害時応援協定締結先の企業、団体、及び協定内容は。

答 他の自治体や消防との相互応援、食料・飲料水・生活必需品・燃料等

問 避難者の健康管理は。

答 避難者の健康管理は。

問 避難所の居住環境の確保、トイレ対策、衛生・感染症対策、医療体制を確保していく。

問 住宅耐震化率と支援制度は。

答 81.7%。耐震化向上のため木造住宅無料耐震診断、耐震改修費補助、除去費補助を行っている。

問 津波発生時の広報体制及び津波避難ビルの指定は。

答 Jアラートによる同報行政無線により音声及びサイレンにて知らせる。地震発生から54分後に津波到達が予測されるが、市内に津波避難ビルを7か所設定している。

問 非常食と毛布等の備蓄数は。

答 避難者1万1,000人の1日3食分備蓄でご飯2万4,000食、乾パン1万2,000食、毛布1万枚、飲料水3万7,000本等備蓄している。

問 仮設住宅の候補地及び確保は。

答 予想必要戸数237戸に対して690戸を計画。候補地の中から最適な場所に愛知県に設置要請。

問 避難者の健康管理は。

答 避難所の居住環境の確保、トイレ対策、衛生・感染症対策、医療体制を確保していく。



令和6年第1回市議会定例会の一般質問は、3月7日、3日8日に12人の議員が執行部と熱心なやりとりを行いました。問と答の内容はいずれも質問議員が執筆しました。なお、文責は質問議員にあります。

問 広報誌に挟まれるチラシが多いのでは

答 多い月は9種類・少ない月は3種類、平均5種類



大川秀徳



広報とこなめに挟まれるチラシについて

問 広報とこなめに挟むことができるチラシのルールはあるか。

答 明文化したルールはない。所管課においてその内容をよく把握したうえで、「市の業務」「市が主催・後援・協賛しているもの」「特に市民の皆さんに周知すべきと思われるもの」であるかを判断している。

電動ろくろを使った授業やクラブ活動について

問 本市の小中学校には何台の電動ろくろがあるか。また、その状態は。

答 常滑中学校61台・常滑東小学校49台・常滑西小学校10台。合計120台中、使用可能なものが38台・使用はできるものの、一部不具合があるものが38台・故障して既に使用不可のものが44台。

問 本市ならではの電動ろくろを使った授業やクラブ活動の今後をどう

う考えているか。

答 電動ろくろを活用した特徴的な授業やクラブ活動を維持していくことは必要だが、電動ろくろの更新には多額の予算が必要。使用頻度・優先度なども含め、慎重に判断する。本市にとって、常滑焼は代表的な伝統産業・残すべき大切な文化。子供たちが焼き物に触れる機会の創出は、常滑に愛着を持つひとつのきっかけにもなるので、常滑焼に関する今後の教育のあり方や、電動ろくろの活用について、他事業との関連性も踏まえつつ、総合的に検討していきたい。



常滑東小学校で長年使われている電動ろくろ

問 備蓄品の現状は

答 計画的に定めているが最低3日分は各自で



西本真樹



大規模地震の備えを求める

(1) 住宅の耐震改修について

問 住宅の耐震化の状況は。耐震化率をあげていくために補助金の引き上げが必要ではないか。

答 令和2年度時点の耐震化は、81.7%である。補助金は100万円で、近隣市町に比較しても低い補助金ではない。

(2) 指定避難所の環境について

問 避難所となる小中学校や保育園などの空調設備と多目的トイレの状況は。計画的な設置をすべきでは。

答 避難所になる教育施設の空調は市体育館と青海・南陵公民館。多目的トイレは市体育館と青海・南陵公民館と3つの学校である。

避難所となる公立保育施設は10園で、空調はすべての園に、多目的トイレは設置していない。

多目的トイレや空調設備は有用だと考えるが、施設ごとの検討や大きな財政負担になるので優先順位を考

えて検討する。

(3) インフラについて

問 河川・海岸堤防や水門、道路、橋梁、土砂災害への対応は。

答 日常点検や長寿命化計画により点検・修繕を行っている。

問 上下水道の耐震化状況は。

答 上下水道は、口径250mm以上の基幹管路で約47%、全体で22%である。

(4) 防災備蓄品について

問 備蓄の現状と乳幼児のミルクやおむつ類の備蓄はどうか。

答 想定避難者数1万1,000人に対応できるように計画。食料品は1日3食分を確保。毛布や生活用品は目標に達していないが災害協定により企業などから調達する。おむつは備蓄しているが、ミルクは課題があるため、協定締結先から確保する。



橋梁の長寿命化修繕をした小倉町の勅使橋

一般質問（市政を問う）

議員名の下にある QR コードを読み取ると、各議員の質問映像を YouTube でご覧いただけます。

問 電子商品券や電子クーポンの導入を

答「とこNAVI」※で電子クーポンを配信中



宇佐美美穂



デジタル化を進めて、市民の利便性向上を

問 キャッシュレス決済の取扱い件数と比率は。

答 令和5年度1月末現在で、税と上下水道料金については、普通徴収分のうち納付書による納付が14万3,289件、うちキャッシュレス決済が1万3,315件で比率は9.3%である。口座振替を入れた場合は、33万9,971件のうち20万9,997件で比率は61.8%である。市民窓口課と税務課に置かれているキャッシュレス決済対応レジスタによる証明書手数料は、2万8,406件のうち1,525件で比率は5.4%である。

問 介護保険料や保育料等のコンビニ収納やスマートフォン決済、施設使用料等のキャッシュレス決済の進捗状況と見通しはどうか。

答 介護保険料や保育料等については、令和5年4月からコンビニ収納やスマートフォン決済が始まった。施設利用料については、「あいち

電子自治体推進協議会」の施設予約システムを共同利用しているが、オンライン決済に対応していない。令和8年のシステム更新に合わせて調整中である。

問 地方創生臨時交付金等を活用して、家庭や事業者を応援する、電子商品券や電子クーポンを導入してはどうか。

答 令和6年度の地方創生臨時交付金は、子育て世帯応援の給食費の高騰分の支援に活用したい。

電子クーポンについては、令和5年12月から様々な移動や交通サービスの情報をひとつにまとめたウェブアプリ「とこNAVI」※内で空港や市内の飲食店で利用できる電子クーポンを配信している。



常滑MaaS「とこNAVI」

※とこNAVIとは、常滑市内で使えるMaaS（公共をより便利にするサービス）で、市内でのスムーズな移動を実現できる仕組み。

問 常滑の特徴を生かした研修制度を

答 常滑焼をなりわいとするつくり手の育成に努める



伊奈利信



とこなめ陶の森 陶芸研究所の研修制度について

問 令和5年度に修了する第40期生を含め、これまで何名がこの研修制度を活用し、何名が修了したか。

答 昭和58年度の第1期生から第40期生までの合計は入所者197人で、修了生は178人である。

問 他の焼き物産地でも同様な研修制度を設けているが、常滑焼ならではのといった特徴的な内容はあるか。

答 本市の研修制度は、「やきものづくりを生業とする人材を育てる」ことを目的としている。特徴は、急須製法のような常滑独自の技法を中心に指導し、原土からの粘土の精製、ガス窯や薪窯による炎での焼成技術の習得など、こだわったプログラムを組んでいること。また、常滑焼の技術や技法をしっかりと体得できるように、材料と燃料などの費用は掛かるが、可能な限り制限を持たせず研修生が作陶に打ち込める環境づくりを

していること。そして、研修修了後に地元での活動がしやすくなるよう、地元作家の工房だけでなく、ギャラリーや販売店などを訪問し、産地ならではの場や人との接点を持つことに取り組んでいる。

問 市内定着化の促進について具体的な取り組みは何か。

答 研修修了後3年間、月額1万円を上限として、工房の家賃を補助する制度や陶芸研究所の窯の貸出を行っている。

問 長三賞の代替事業の検討結果はどうか。

答 現在のところ、ふさわしい代替事業の企画までには至っていない。今後も検討を重ね、伊奈長三郎氏の想いを踏まえ、常滑の作家の方々の励みや常滑焼の発展につながるような事業を企画していきたい。



とこなめ陶の森 陶芸研究所

令和6年第1回市議会定例会の一般質問は、3月7日、3日8日に12人の議員が執行部と熱心なやりとりを行いました。問と答の内容はいずれも質問議員が執筆しました。なお、文責は質問議員にあります。

問 ごみの減量化及び資源化の推進を

答 分かりやすい広報に努めていく



森下雅仁



更なる市民への周知・啓発を

問 若者の4R意識を向上させる施策は。

答 SNSでのポップアップ機能を利用した周知や、ドラッグストアにちらしを置くなど若者の目に付きやすい周知・啓発に努めていく。

問 重点施策にある、大人に対する学習機会の創設とは何か。

答 ゆめくりんで実施している環境プログラムで、水質試験や海洋ごみからのボールペン作りなどにより環境を学ぶことなどである。

問 家庭から発生する生ごみを削減する施策は。

答 令和6年度からミニキエーロを、生ごみ減容機器購入に対する報奨金の対象に追加する。

問 食品ロスを削減する施策は。

答 市民に、ある物を使い切り、不要な物を買わない行動を推奨する。

問 その他紙類の分別を進めるための施策は。

問 半田病院と経営統合後の産科について

答 法人全体として産科を維持していく



岩崎 忍



常滑市の産科の状況について

問 婦人科ウィメンズセンターでの治療によって妊娠した場合の現在の対応は。

答 概ね妊娠30週まで妊婦検診を実施し、分娩施設への紹介対応も実施している。

問 妊婦健診の実施にあたり、不妊治療をしている人への配慮はどのようにしているか。

答 時間と場所を分けて合わないように配慮している。第2子の不妊治療の場合は難しい。

問 経営統合後の妊婦健診はどのような予定か。

答 引き続き実施していく予定をしている。

問 経営統合後の産科の連携はどのようになるか。

答 産婦人科に係る診療機能分担として、産科は半田病院がすべてを担い、常滑市民病院は婦人科治療と不妊治療を担う方針としている。

避難訓練、防災ヘルメットについて

避難訓練、防災ヘルメットについて

問 幼保こども園の避難訓練内容は。

答 地震に関する避難訓練を毎月1回実施。内容は、防災ヘルメットの被り方や、保育士の指示に従い集団行動をとることなどである。

問 小、中学校の避難訓練の内容は。

答 地震や火災、風水害を想定した避難訓練を実施。マニュアルに沿って各学校に必要な訓練を実施。

問 市が管理する防災頭巾、防災ヘルメットの配置状況は。

答 防災頭巾は、保育園等に296枚配置。防災ヘルメットは、来庁者用に大人用19個、保育園等の施設を利用する子ども用として47個配置。他に職員と議員に貸与。幼・保育園には、保護者が購入し、園で保管し活用する子ども用ヘルメットを819個配置。

問 小、中学校の生徒にも支給あるいは一括購入で防災ヘルメットを配置してはどうか。

答 保護者、関係者の意見が出れば検討していく。



一般質問（市政を問う）

議員名の下にある QR コードを読み取ると、各議員の質問映像を YouTube でご覧いただけます。

問 相続登記手続きについて不明なときは

答 毎月開催の市民相談の利用を



齋田 資



相続登記の義務化への対応について

問 相続で取得して3年以内に登記をすることが義務だが、固定資産税の納税状況との関連はあるか。

答 所有者が1月1日より前に死亡した場合は、固定資産を保有している者である相続人や財産の承継人が納税義務者となる。相続登記がされるまでは固定資産の者に対し、申告書の提出を求め、その者に課税するので、相続登記と固定資産税の納税状況には関連はない。

問 公共事業において、相続登記未完了で進捗に問題となったケースはあるか。

答 公共用地の買収を行う上で、登記名義人が亡くなっているものの相続登記がなされていない事例はあるが、ここ数年で相続登記未完了が原因で市の公共事業における事業進捗に問題のあったケースはない。

問 市民窓口課で死亡届が出された

ときの相続登記の案内はどのようにしているか。

答 市民窓口課では、遺族の方が届出受付窓口において死亡届を提出した際に葬儀後の手続きの参考にするため、亡くなられた方の健康保険や年金などの手続きについて、必要な持ち物などをまとめた「おくやみハンドブック」を令和5年1月より配布しており、その中に相続登記に関する「名古屋法務局からのお知らせチラシ」を掲載し周知を図っている。



名古屋法務局からのお知らせチラシ

問 「広報とこなめ」で案内している市民相談には、司法書士による「登記・多重債務・空き家」相談があるが、相談状況はどうか。

答 令和5年度の2月までの相談件数は、23件であり、その内「登記」については11件。相談会は事前予約が必要であり、13時から16時の3時間の開催で、1人当たり1時間の枠で毎回3人の相談を受けている。

問 トイレトレーラーの導入は？

答 軽トラトイレも含めて検討する。課題は費用



成田勝之



避難所設営及び運営について

問 避難所の開設及び運営の訓練はどうなっているか。

答 設営は毎年4月に避難所管理班と指定管理者及び社会福祉協議会職員が現地への集合形式で行っている。運営の実働訓練は行っていないが管理班対象にHUG※を実施した。

問 指定管理者が避難所の設営及び運営に携わることについての取り決めはどうなっているか。

答 参集メールが届く。運営も協力する内容が仕様書に盛り込まれている。

問 避難所開設の時はどのように情報展開されるか。

答 同報無線、個別受信機、市のホームページ、公式SNS等。令和6年4月からプッシュ型で通知するアプリを運用する。5か国語で対応。

問 避難所のクオリティを高めるために大切なことは何か。

答 時間経過とともにニーズが変化

する。水、食料、トイレの数、温度管理、スマホの充電等。

問 トイレは臭気対策も含めて重要な課題である。トイレトレーラー導入の考えはないか。

答 プライバシー確保や臭気対策など利点はある。費用が課題だが、軽トラトイレも含めて検討する。

※HUG（避難所・運営・ゲーム）

電動キックボードの対応について

問 令和5年7月の道路交通法改正により特定小型原動機付き自転車と呼ばれる電動キックボードの区分ができた。ナンバープレート装着は義務である。状況はどうか。

答 本市のナンバープレート発行枚数は13枚。発行時に同様に義務である、自動車損害賠償責任保険加入の案内及び交通ルールなどの啓発チラシを渡している。

問 手軽さから観光客のニーズが期待できる。状況はどうか。

答 レンタル実績は13件。ちよっとした移動が多い。今後期待できる。



令和6年第1回市議会定例会の一般質問は、3月7日、3日8日に12人の議員が執行部と熱心なやりとりを行いました。問と答の内容はいずれも質問議員が執筆しました。なお、文責は質問議員にあります。

問 有機給食を早く提供するために何が必要か

答 行政、市民、農協など連携をすることが大切



井上恭子



有機給食のための連携を

問 有機給食に対する今後の方針を教育委員会はどうか考えているか。

答 有機給食については価格が高く供給が難しい点はあるが、オーガニックの日には有機大根を提供した。子どもたちの食育の視点として考えている。

問 9月議会の一般質問で「病む人もいる、それぞれです。」という発言は、食品の考え方のリスク分析から言えば正しい指摘である。食品の安全性を語るにはリスクコミュニケーションをとり、連携が必要だと思いがどうか。

答 農業従事者や学校給食に関わっている人が連携し、自分たちの想いや考えを十分出し合い、熟知した内容を尊重していく。今後の在り方を検討していきたい。

健康保持に重要な有機農業推進を

問 「愛知県環境負荷低減事業活動

の促進に関する計画」における有機農業の位置付けを問う。

答 堆肥などの有機質資材により土壌を改善させ、かつ化学肥料及び農薬の使用量を削減した生産方式の有機農業にしていくと位置付けている。

問 世界でも日本でも有機栽培は拡大している。生産者の高齢化、温暖化、大規模災害、自給率向上に向けても有機栽培促進は重要である。今後の行政の意気込みを問う。

答 国に聞きながらどのような支援が受けられるか、比較的小規模な有機農業の取り組みも含め支援できる方法を調査研究していきたい。

情報公開制度の活性化

問 公文書開示請求の方法は現在窓口提供または郵送である。ホームページで電子申請の方法の明示を。

答 最近、ホームページに掲載した。

問 公文書開示請求を不服とした審査請求を公開することの利点は何か。3件しか公開されていないがなぜか。

答 公開することにより市民に対する説明責任を果たすとともに、行政に対する市民の信頼を高めると考える。これまで審査請求がなかったためである。

問 保育士の定員はクリアしているか

答 実績は9人減の106人である



相羽助宣



第7次常滑市定員適正化計画について

問 保育士教諭職の職員数について。

答 計画では令和5年度の保育士教諭職は、115人で実績は9人減の106人である。十分な職員は確保できておらず、不足分は会計年度任用職員で対応している。

問 消防職の女性職員について。

答 現在3人が在職しており、令和8年4月までに定員の5%とすることを目標としている。

問 技術職員の状況について。

答 令和5年4月時点で、41人の一般技術職が在籍している。建設部で各課1人程度不足している。

新図書館建設について

問 現在の利用者数、貸出冊数について。

答 令和4年度の3館合計の利用者数は4万9,254人、貸出冊数は30万9,359冊。学習室の利用者数について。

答 市民文化会館2階に開設している学習室は、806人、南陵公民館のスペースは1,306人。テスト週間には、青海公民館や南陵公民館の図書閲覧スペースでも、中学生の学習の場として利用されている。

問 市民からの意見について。

答 『新図書館を早く建設して欲しい』、『学習スペースを作って欲しい』、『蔵書を充実して欲しい』など様々な意見をいただいている。令和6年度には、図書館を含めた文化施設の『あり方検討』に向けた意見収集のため、図書館、公民館、文化会館の各利用者や関係団体などに対する、アンケート調査やヒアリングを実施する予定である。

問 新図書館建設の検討は行っているか。

答 職員のワーキンググループを設置して、情報収集に努めている。



イオンモール内に併設された図書館の例(富津市立図書館)



令和6年度当初予算審査報告

一般会計(3月18日)及び特別・企業会計(3月21日)を審査しました。質問の一部抜粋となります。

一般会計

友好都市交流事業費

事業内容と今後の展開を問う。

答 宜興市^{ぎきょうし}で秋に開催予定の国際陶磁器文化芸術節への参加を予定。小学校のオンライン交流の実施や様々な分野での交流の輪を広げる予定。

資源物等回収事業費

問 電池類の個別回収では、小型家電の場合でも電池を取り出すのか。また、周知方法はどうか。

答 小型家電の電池は取り外せる場合は外して絶縁テープを貼り電池類で出す。取り外せない場合は小型家電で出す。周知は、広報とこなめ、ごみ分別アプリなどで行う。

観光戦略プラン事業費

問 事業費の内容を問う。

答 食の魅力体験ツアーとインバウンドの獲得に向けて中国人インフルエンサーを招請し、推進する。

宿泊税管理費

問 システム整備補助金の詳細を問う。

答 宿泊税管理費の一部、印刷費などは対象となる。上限100万円として

50万円以下は全額支給となる。

大型自動車免許取得助成金

問 対象人数と補助割合を問う。

答 対象者は4人。大型自動車免許の取得は、近隣で日中時間に入校の場合、約41万円の費用となる。助成金額は、定額で1人8万円を上限とし、補助割合は約2割となる。

学校給食共同調理場管理運営委託費

問 どのような内容か。

答 将来にわたって安全かつおいしい給食を提供する、民間業者の様なノウハウを活用した維持管理運営一括発注方式により実施する。

特別会計

国民健康保険事業特別会計

問 マイナンバーカードへの被保険者証移行について詳細を問う。

答 本年12月には被保険者証が廃止となる。マイナ保険証利用者は令和5年11月5.05%。マイナ保険証を所有しない被保険者には資格確認書が発行され、保険証の代わりとなる。

常滑駅周辺土地区画整理事業特別会計

土地区画整理費

問 駐輪場整備の整地の詳細は。

答 有料駐輪場の整備によって臨時駐輪場の一部が使用できなくなるため、隣接地を仮設駐輪場にするための整備を行う。

企業会計

モーターボート競走事業会計

問 愛知・名古屋アジア競技大会拠出金 拠出金決定の経緯と根拠は。

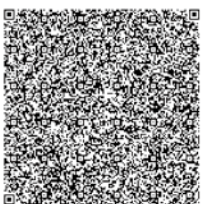
答 アジア大会組織委員会より支援の依頼があり、ボートレース蒲郡と協議した結果、1節6日間のレース開催の売上3%を拠出する計画とし、売上実績から算出した。

病院事業会計

医療機器等購入

問 医療機器及び備品の詳細等は。

答 透析装置一式、外科モニターシステム、病理検査システム、検査データ集約システムで、医療機能維持や収益確保、半田病院との連携強化などを目的に導入を予定。



予算の説明はこちらのQRコードから

特別委員会活動報告

議会改革プロジェクト 特別委員会

令和5年4月に行われた常滑市議会議員選挙の得票率が低かったことを受け、議会のあるべき姿を模索するために議会改革を進めてきました。

まず、市議会議員に対して議員定数や報酬など6項目のアンケートを実施しました。その後、市民の皆さんに市議会のあり方の参考のために17項目のWEBアンケートを7月から8月の2か月間行い、733件の回答が寄せられました。

同時に、議会活動が多多くの市民の目に触れ、興味をもってもらえるように、「市議会ニュース」を作成し、YouTubeで配信して議会の見える化を進めてきました。

今後も議会改革の必要に応じ検討してまいります。

病院統合後調査 特別委員会

令和7年4月に半田市立半田病院と常滑市民病院が経営統合し、地方独立行政法人知多半島総合医療機構として経営統合することによる課題などについて、当委員会では、状況把握や現地視察などを行い、調査しました。

まず、現在の病院の状況や統合までのスケジュール、知多横断道路区域内の緊急退出路の整備や両病院までの交通ルート整備について、担当課から説明を受けました。また、桑名市民病院と2民間病院の統合に関わっていた病院事業管理者から統合までの経緯について説明を受け、統合前後の課題を認識しました。

現地視察では、知多半島総合医療機構の建設工事現場を視察し、耐震設備などの説明を受けました。地方独立行政法人桑名市総合医療センターへ訪問し、統合による課題や問題を、貴重な意見として説明を受けました。統合まで約1年となり、令和6年度も議会への逐次報告及び、令和7年度に独立行政法人化した後も勉強会設立を目指していきます。

市議会協議会

市政に関する重要な問題を全員で調査研究し、市政運営の円滑な推進を図るため、市議会協議会を開催しました。1月～3月の開催状況と提出された主な案件は次のとおりです。

- 第1回協議会（1月24日開催）
- 市制70周年記念事業の実施内容について
- 常滑市地域公共交通計画（案）
- 第5次常滑市障がい者基本計画（案）等
- 常滑市高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画（案）
- 保育施設等における第三子以降保育料・給食費無償化事業について
- 第三子以降小中学校給食費無償化等事業について
- 第2回協議会（2月24日開催）
- 令和5年度当初予算の概要他9件
- 第3回協議会（3月24日開催）
- 第3期常滑市国民健康保険データヘルス計画・第四期常滑市特定健康診査等実施計画について

編集後記

令和5年度は市議会だよりの編集・発行、南陵中学校の3年生を市議会へお招きし『とこなめ子ども議会2023』を開催しました。今号から12ページ（年4回）となります。引き続き、議会の取組に関心を持ってもらえるような、紙面づくりに努めてまいります。



- 広報広聴委員会
- 委員長 西本 真樹
 - 副委員長 肥田 裕士
 - 委員 岩崎 忍
 - 委員 加藤代史子
 - 委員 中村 崇春
 - 委員 齋田 資
 - 委員 坂本 直幸

令和6年第2回市議会定例会 会期日程(案)

- 6/10(月)開会、議案上程・説明
- 6/13(木)・14(金)一般質問
- 6/17(月)一般質問予備日、議案質疑、委員会付託、予算委員会
- 6/19(水)経済建設委員会
- 6/20(木)文教厚生委員会
- 6/21(金)総務委員会
- 6/25(火)委員長報告、質疑、討論、採決、閉会

一般質問の様子は6月13日(木)・14日(金)の午前9時30分から(録画放送は午後7時から)ケーブルテレビ(CCNC)で放送予定(再放送は6月16日(日)午前9時から)。一般質問予備日は6月17日(月)の午前9時30分から(録画放送は午後7時から)ケーブルテレビ(CCNC)で放送予定(再放送は6月23日(日)午後9時から)

令和6年 第1回市議会定例会審議結果 (3月6日～24日開催)

審議結果については、いずれも原案どおり可決されました。反対意見のあった議案、議員提出議案のみ掲載。詳細はホームページをご確認ください。

議案名	議員名	会派名																		
		小	新	維	共	公	靑	あ	繫			常翔会								
		宇佐美美穂	岩崎忍	肥田裕士	西本真樹	加藤代史子	井上恭子	成田勝之	大川秀徳	中村崇春	伊奈利信	森下雅仁	斎田資	坂本直幸	稲葉民治	相羽助宣	伊藤史郎	加藤久豊	盛田克己	
議案第2号	令和6年度常滑市一般会計予算	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第3号	令和6年度常滑市国民健康保険事業特別会計予算	○	○	×	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第4号	令和6年度常滑市後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第5号	令和6年度常滑市介護保険事業特別会計予算	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第16号	常滑市宿泊税条例の制定について	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第17号	常滑市宿泊税基金条例の制定について	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第18号	常滑市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第21号	議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第22号	常滑市特別職の職員で常勤の者の給与及び旅費に関する条例の一部改正について	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第24号	常滑市立学校設置条例の一部改正について	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第25号	常滑市立幼稚園保育料等条例の廃止について	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第26号	常滑市立青海こども園の設置及び管理に関する条例の一部改正について	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第28号	常滑市国民健康保険税条例の一部改正について	○	○	×	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第29号	常滑市介護保険条例の一部改正について	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第30号	常滑市立児童館の設置及び管理に関する条例の一部改正について	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員提出議案第1号	常滑市議会委員会条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※議長盛田克己は、採決に加わらないが、議案第24号は出席議員の3分の2以上の同意を必要とする特別多数決議のため議長も採決に加わる。

令和6年 第2回市議会臨時会審議結果 (3月29日開催)

審議結果については、いずれも原案どおり可決されました。

議案名	議員名	会派名																		
		小	新	維	共	公	靑	あ	繫			常翔会								
		宇佐美美穂	岩崎忍	肥田裕士	西本真樹	加藤代史子	井上恭子	成田勝之	大川秀徳	中村崇春	伊奈利信	森下雅仁	斎田資	坂本直幸	稲葉民治	相羽助宣	伊藤史郎	加藤久豊	盛田克己	
議案第41号	常滑市税条例等の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第42号	常滑市国民健康保険税条例の一部改正について	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第43号	財産の取得について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○：賛成 ×：反対 議長は採決に加わりません。

会派名の小は小さな勇気の会、新は新緑会、維は日本維新の会議員団、共は日本共産党議員団、公は公明党議員団、新風は新風クラブ、あは新政あいちとこなめの略



無料アプリ「マチイロ」を使って、「市議会だより」をスマートフォンやタブレット端末に配信しています。